

平坦性の確保について

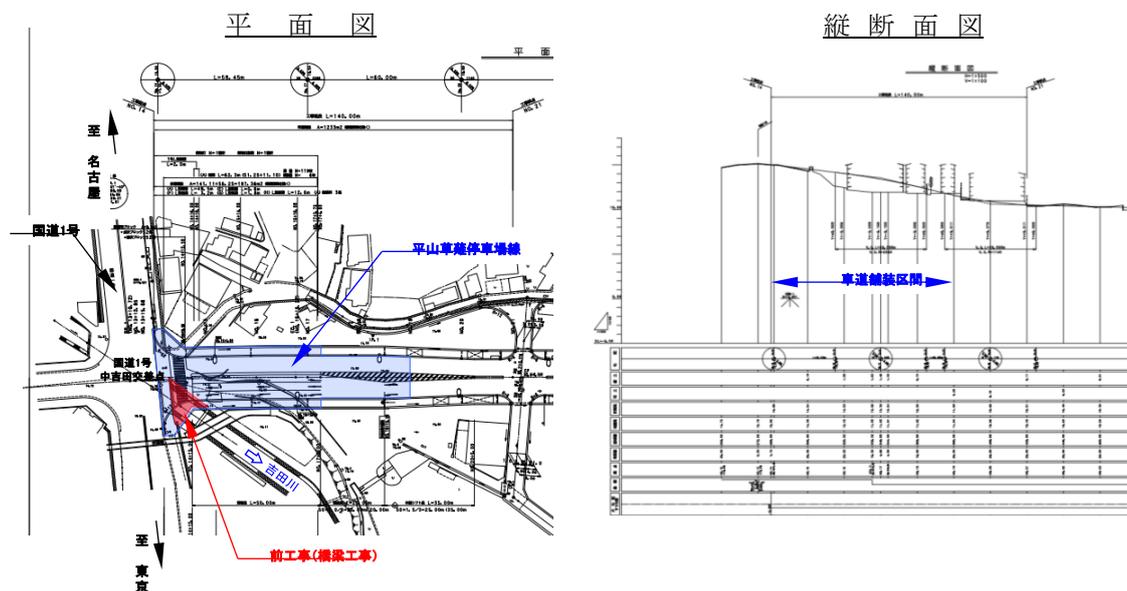
(社)静岡県土木施工管理技士会
静岡支部 木内建設株式会社
青木 寿剛

工事概要

工 事 名 平成21年度 駿県舗第2号(一)平山草薙停車場線舗装工事
工事場所 静岡市駿河区中吉田地内
工 期 着 手 平成22年 3月 5日
竣 工 平成23年 3月15日
発 注 者 静岡市長 小 嶋 善 吉
請 負 者 木内建設株式会社

1. 工事概要及び留意点について

本工事はJR草薙駅と葵区平山を結ぶ一般県道を現道の東、約800メートルに新たに築造する舗装工事であり、道路規格は4種1級、設計速度50km/hr、交通区分はC1交通であった。



本工事の起点部は国道1号と吉田川が斜めに交差する箇所であり、橋梁工事後に付帯構造物を築造し、舗装工事を施工する作業の流れとなった。

計画での舗装構成は下層路盤(t=100)、上層路盤(t=100)、上層路盤瀝青安定処理(t=80)、基層(t=50)、表層(t=50)の構成であったが、工事起点となる国道1号との接続については着手後、発注者(静岡市)と道路管理者(国交省)によって国道規格での舗装構成に変更となった。

橋梁部分が平山草薙停車場線に対して斜めに配置され、また、国道部分の橋面舗装等継目となる部分が狭小の範囲に多く発生し、打継目の処理や平坦性の確保に懸念を生じた。

(次頁 舗装構成平面図)

小型振動ローラー締固め状況



舗設状況



国道接続部舗設状況



4. 結果

基層、表層におけるアスファルト混合物の材料切替もスムーズに行え、機械施工は連続性を維持しながら、施工することが出来た。

表層工延長L=100mが4車線あり、平坦性試験結果は1.65mmであり、規格値として定めた2.2mm以内の規格を満足するものであった。その内の橋面部のある2車線の部分(20m)を抽出すると1.76mm、1.64mmの結果が得られ、出来栄としては満足できる仕上がりとなった。

基層施工状況



表層施工状況



平坦性試験状況



完成全景

